

主な完成・供用予定事業詳細 (山形県)

もがみがわすいけい にごりざわ
最上川水系直轄砂防事業 濁沢第7砂防堰堤

完成

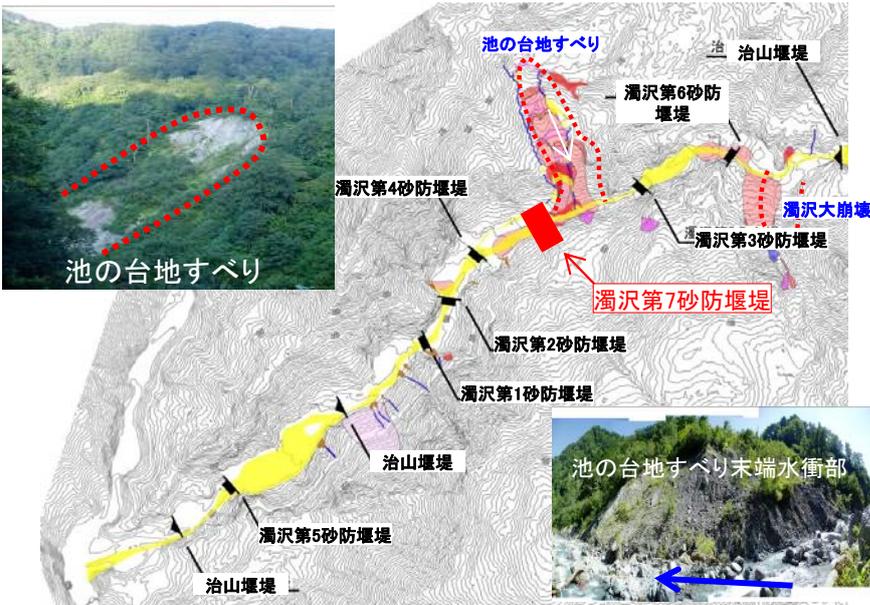
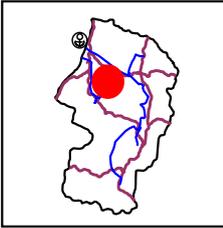
ひがしたがわ しょうないまち
 山形県東田川郡庄内町

河川(砂防)

直轄

【事業の概要】

・立谷沢川流域濁沢は平成3年に池の台地すべり、平成5年に濁沢大崩壊が発生するなど山腹崩壊や溪岸侵食が著しい重荒廃地域であり、脚部侵食等による崩壊の拡大や河道閉塞による大規模土砂流出の恐れがあることなどから、砂防堰堤を建設し人命・財産を保全します。



【整備効果】

・濁沢第7砂防堰堤の整備により、溪床・溪岸を安定させ、溪岸崩壊による多量の流出土砂の調節、地すべりの抑制により、下流域集落への氾濫防止・軽減を図ります。



・現在事業実施中の濁沢第7砂防堰堤上流において、平成5年6月に大規模崩壊が発生。
 ・土砂崩壊時に整備中だった下流の濁沢第5砂防堰堤が流出土砂を捕捉し、急激な土砂流出による被害の軽減に一定の効果を果たした。

【平成23年度の事業内容】

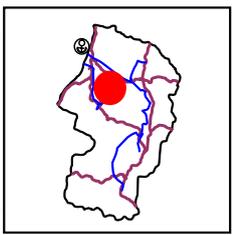
・平成23年度は、事業完成に向けて主堰堤・副堰堤等の工事を実施します。

もがみがわすいけい しなざわがわ
最上川水系直轄砂防事業 科沢川砂防堰堤

完成	山形県東田川郡庄内町	河川(砂防)	直轄
----	------------	--------	----

【事業の概要】

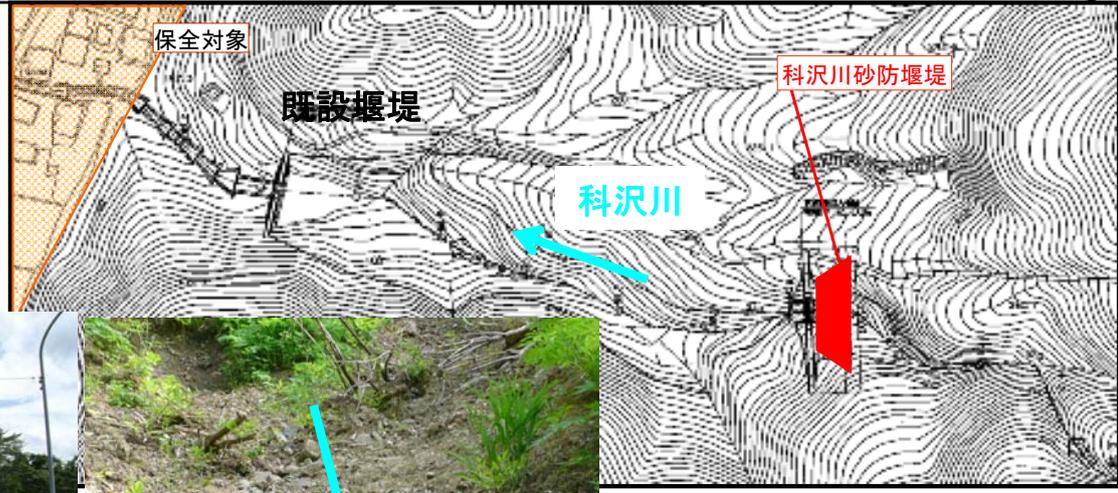
・立谷沢川流域科沢川は土石流危険渓流であり、溪床に堆積している崩壊土砂が土石流化する恐れがあることなどから、砂防堰堤を建設し人命・財産を保全します。



【整備効果】

- ・科沢川砂防堰堤の整備により、土石流による土砂災害を防止・軽減します。
- ・谷出口下流の人家12戸、公民館1戸、町道を土砂災害から保全します。

科沢川谷出口下流には指定避難所の科沢公民館が位置している。



保全対象(科沢公民館)



溪床土砂堆積状況

【平成23年度の事業内容】

- ・平成23年度は、事業完成に向けて主堰堤の工事を実施します。

もがみがわすいけい 最上川水系直轄砂防事業 丑ノ沢砂防堰堤 うしのさわ

完成

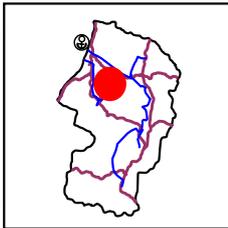
山形県東田川郡庄内町

河川(砂防)

直轄

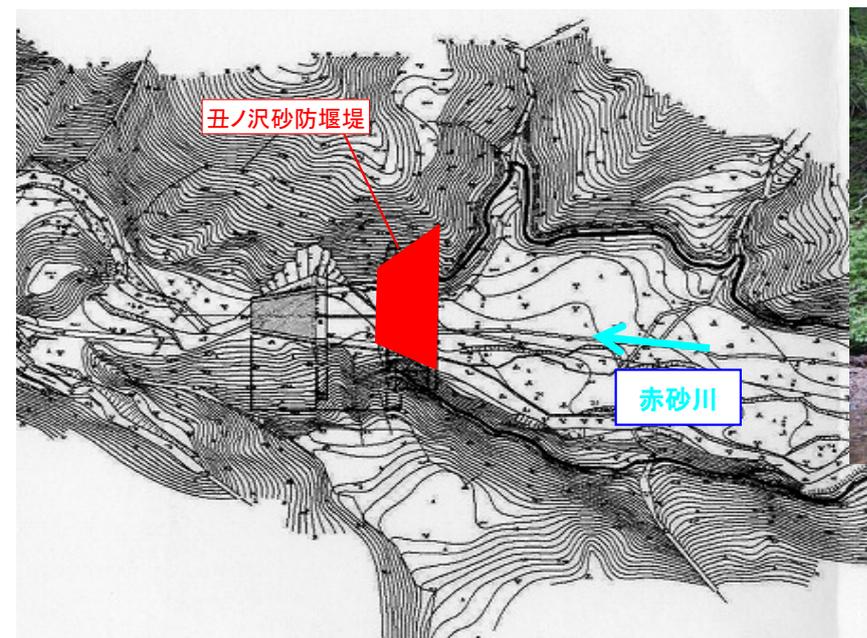
【事業の概要】

・立谷沢川流域丑ノ沢は、流域内に崩壊地及び地すべり変状が点在する荒廃地域であり、土砂生産が多いことから下流域への土砂流出を防ぐため、砂防堰堤を建設し人命・財産を保全します。



【整備効果】

・丑ノ沢砂防堰堤の整備により、溪床・溪岸を安定させ、溪岸崩壊による多量の流出土砂の調節、地すべりの抑制により、下流域集落への氾濫防止・軽減を図ります。



丑ノ沢上流部の溪岸崩壊状況



【平成23年度の事業内容】

・平成23年度は、事業完成に向けて副堰堤等の工事を実施します。

もがみがわすいけい 最上川水系直轄砂防事業 赤砂第8砂防堰堤 あかすな

完成

山形県 もがみ 最上郡 おおくらむら 大蔵村

河川(砂防)

直轄

【事業の概要】

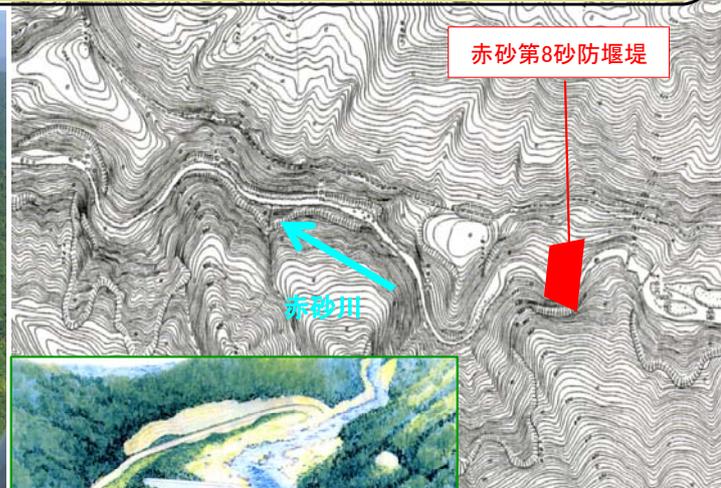
・銅山川流域赤砂川は、多くの地すべり地形や崩壊地が見られ、昭和51年には赤松沢上流部で河道閉塞(天然ダム)が形成されるなど、下流域への大規模土砂流出の恐れがあることなどから砂防堰堤を建設し人命・財産を保全します。



【整備効果】

・赤砂第8砂防堰堤の整備により、溪床・溪岸を安定させ、溪岸崩壊による多量の流出土砂の調節、地すべりの抑制により、下流域集落への氾濫防止・軽減を図ります。

河道閉塞状況



赤砂第8砂防堰堤
完成イメージ

【平成23年度の事業内容】

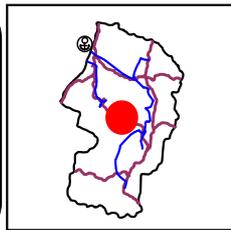
・平成23年度は、事業完成に向けて法面保護工等の工事を実施します。

もがみがわすいけい ひがしのさわ
最上川水系直轄砂防事業 東の沢砂防堰堤群

完成	山形県 <small>にしむらやま</small> 西村山郡 <small>にしかわまち</small> 西川町	河川(砂防)	直轄
----	--	--------	----

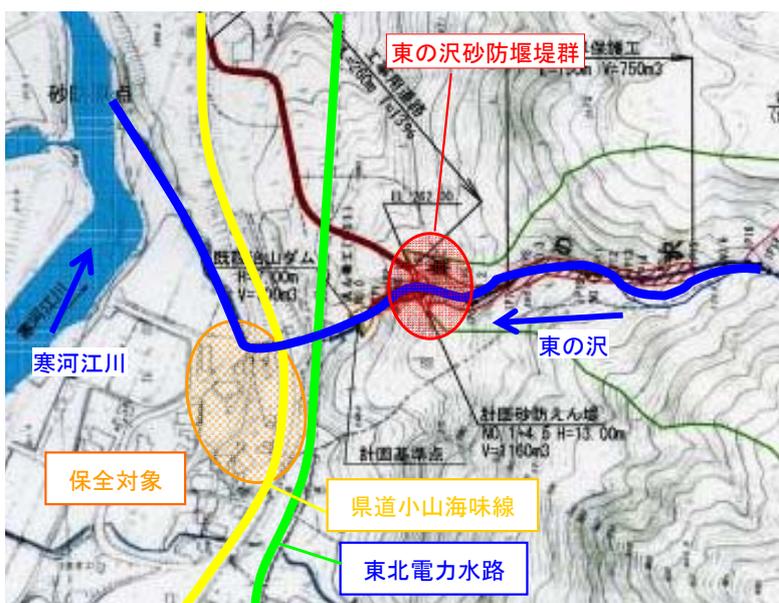
【事業の概要】

寒河江川流域東の沢は土石流危険溪流であり、崩壊土砂が溪床に堆積し、山腹の立木は根曲りが見られ土塊の移動が進行している可能性があることなどから、砂防堰堤を建設し人命・財産を保全します。



【整備効果】

- 東の沢砂防堰堤群の整備により、土石流による土砂災害を防止・軽減します。
- 谷出口下流の人家4戸、県道、東北電力の発電水路を土砂災害から保全します。



【平成23年度の事業内容】

平成23年度は、事業完成に向けて東の沢第2砂防堰堤の主堰堤・垂直壁等の工事を実施します。

あかがわすいけい はっこうさわ
赤川水系直轄砂防事業 八紘沢砂防堰堤

完成

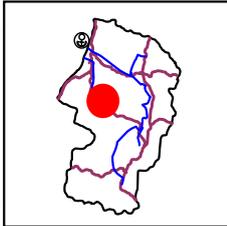
つるおか
 山形県鶴岡市

河川(砂防)

直轄

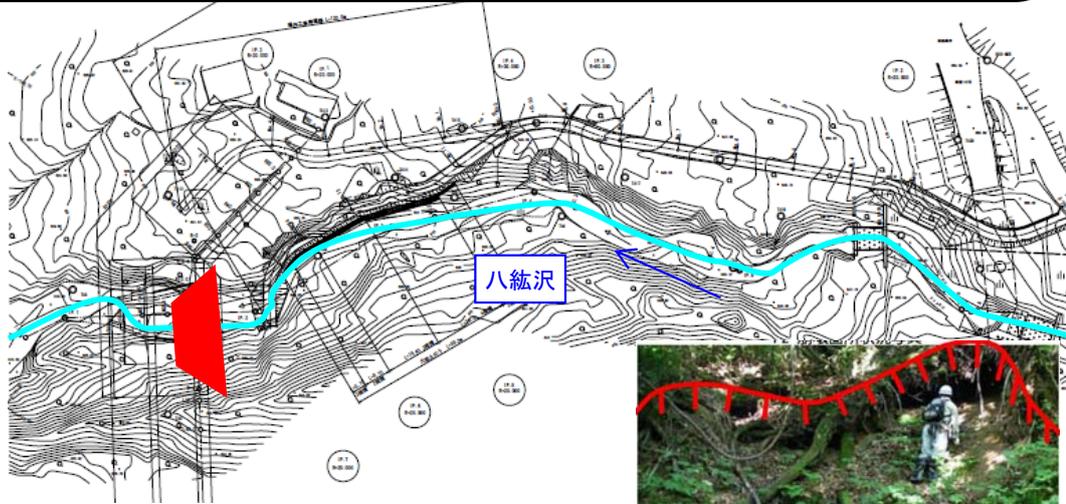
【事業の概要】

・赤川流域八紘沢は多くの地すべり地形や崩壊地が見られ土砂生産が多く、地すべりの影響により国道112号に影響を及ぼす恐れがあることから、砂防堰堤を建設し人命・財産を保全します。



【整備効果】

・八紘沢砂防堰堤の整備により、溪床・溪岸を安定させ、溪岸崩壊による多量の流出土砂の調節、地すべりの抑制により、県都山形市と沿岸部の中核都市鶴岡市、酒田市を結ぶ重要交通網である国道112号を土砂災害から保全します。



・平成8年には、国道112号(山形県第1次緊急輸送道路)が通行止めとなったことがある。



【平成23年度の事業内容】

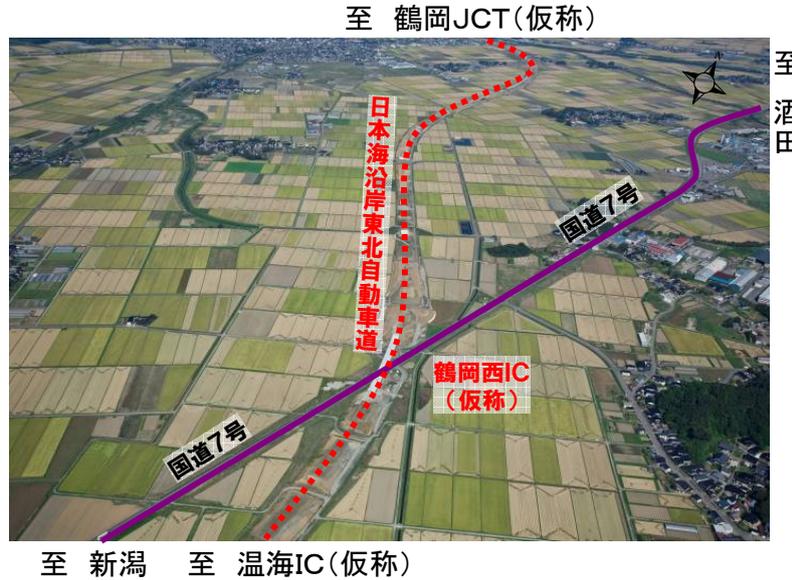
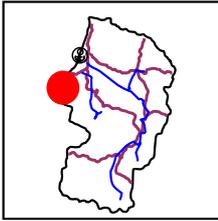
・平成23年度は、事業完成に向けて主堰堤・垂直壁等の工事を実施します。

日本海沿岸東北自動車道 温海～鶴岡

供用 山形県鶴岡市大岩川～鶴岡市山田(延長26km) 道路 直轄

【事業の概要】

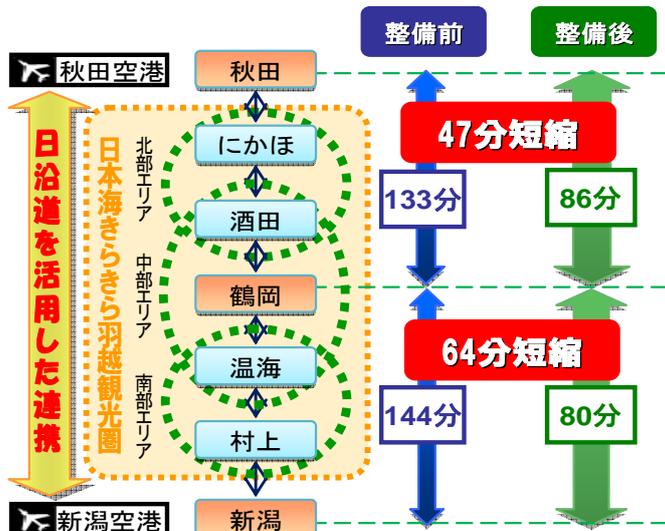
日本海沿岸東北自動車道は、新潟市から青森市に至る約320kmの高規格幹線道路です。温海～鶴岡間は、温海IC(仮称)から鶴岡JCT(仮称)に至る、延長26kmの路線です。



【整備効果】

- ・主要都市間の時間短縮が図られ、新潟～山形～秋田の3県を跨ぐ日本海沿岸地域の広域観光が可能になります。
- ・災害に強い道路ネットワークが確保されます。
- ・背高海上コンテナの輸送ルートが確保されます。

▼主要都市間の時間短縮

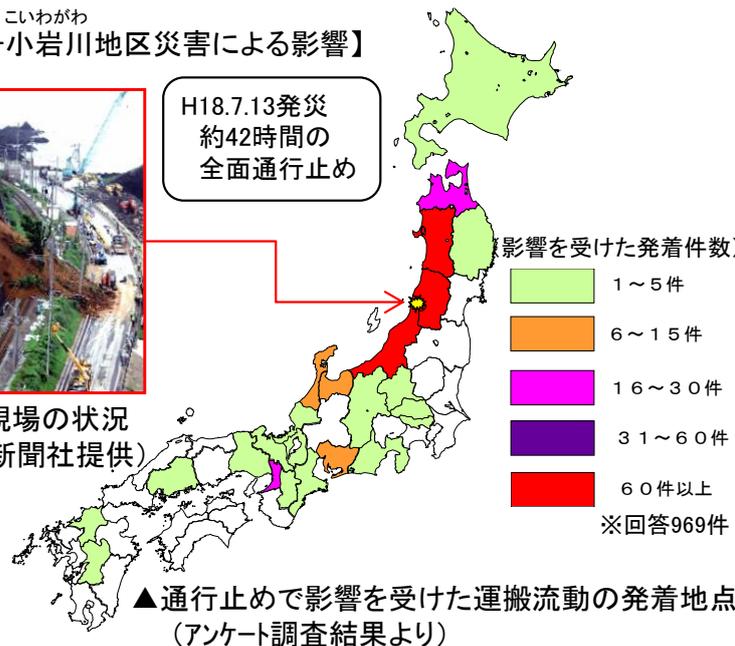


【国道7号小岩川地区災害による影響】



▲被災現場の状況 (山形新聞社提供)

H18.7.13発災
約42時間の
全面通行止め



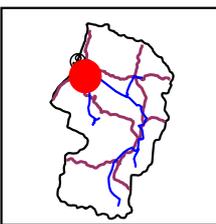
【平成23年度の事業内容】

- ・全線2車線供用に向け、トンネル付属施設、舗装工事を実施します。

国道7号 鶴岡バイパス

部分供用	山形県鶴岡市中清水～鶴岡市本田(延長3.9km)	道路	直轄
------	--------------------------	----	----

【事業の概要】
 鶴岡バイパスは、鶴岡市街地の環状道路を形成し、日本海沿岸東北自動車道と東北横断自動車道酒田線との連絡を強化、混雑緩和、事故減少を目的とした、4車線化事業です。

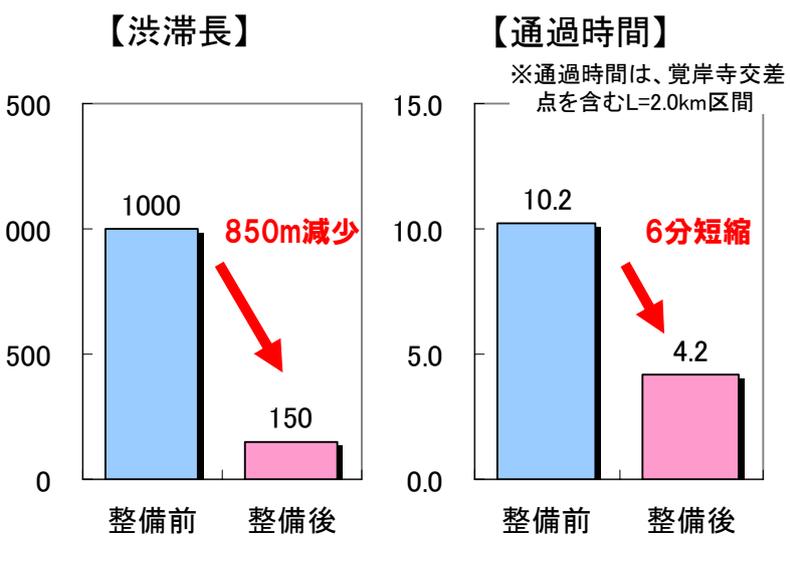


【整備効果】

- ・主要渋滞ポイント(覚岸寺交差点)の改善が図られます。
- ・4車線化により交通の円滑化が図られ、高速ネットワークへのアクセス性強化が期待されます。



▲整備前後の交通状況



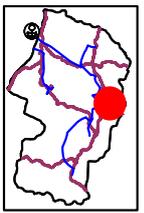
▲渋滞長・通過時間の変化

【平成23年度の事業内容】
 ○全線4車線化に向け、改良工事、舗装工事を実施します。

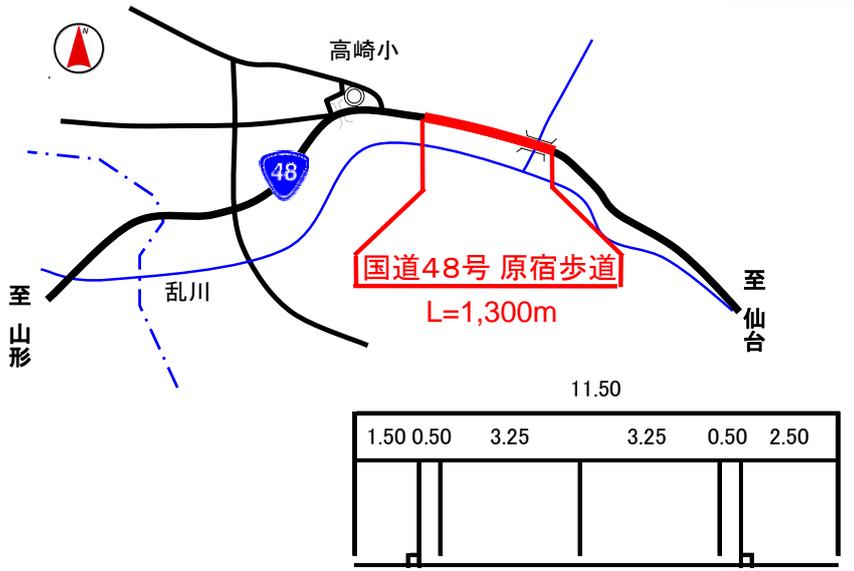
国道48号 原宿歩道 はら じゆく

供用	山形県東根市 <small>ひがしね</small>	道路	直轄
----	----------------------------	----	----

通学路指定区間であるが歩道が狭隘のため、歩道を拡幅し、歩行者や自転車の安全を確保します。
平成23年度は、事業完成に向けて改良・舗装工事を実施します。



▲通学時の状況

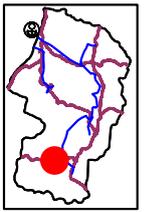


▲計画横断面図 歩道拡幅
W=1.5→2.5m

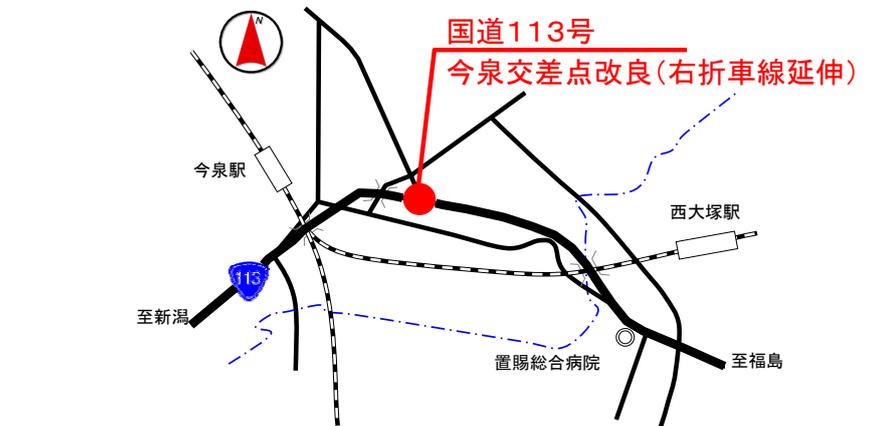
国道113号 今泉交差点改良 いま いずみ

供用	山形県長井市 <small>ながい</small>	道路	直轄
----	---------------------------	----	----

右折車線が短く、追突事故が多発している交差点で、右折車線を延伸し、交通事故の削減及び交通の円滑化を図ります。
平成23年度は、事業完成に向けて改良・舗装工事を実施します。



▲交差点の状況



【事故等の状況】
人身事故件数の約7割が追突事故(18件中13件)
(H17~H20事故データより)
渋滞長 L=250m 通過時間 約2分

さかたこうきたこう
酒田港北港地区
国内物流ターミナル(耐震)整備事業

完成

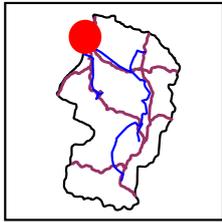
山形県酒田市

港湾

直轄

【事業の概要】

リサイクルポートとしての輸送能力向上と、大規模地震等災害発生時の緊急物資輸送と物流機能維持を目的に、国内物流ターミナル(耐震)を整備します。



▼耐震岸壁・防災拠点のイメージ



【整備効果】

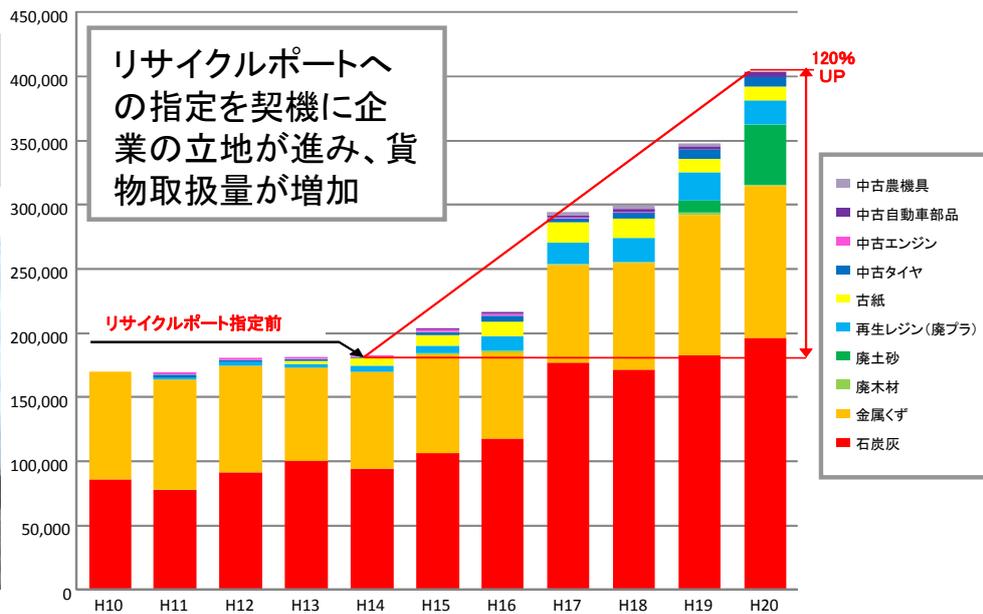
大規模地震時の緊急物資輸送拠点として地域住民の生活を支えます。また、ターミナルを増深することで、物流効率化を図ります。

増深工事の完了により水深10m対応の大型船の入港が可能となります。



▲廃土砂の運搬状況

リサイクルポートへの指定を契機に企業の立地が進み、貨物取扱量が増加



▲酒田港の主要なリサイクル貨物取扱量の推移

【平成23年度の事業内容】 泊地浚渫工を実施して事業が完了します。